

警察署協議会会議録

早良警察署協議会

開催年月日時	令和7年5月30日 午後 4時30分 から 令和7年5月30日 午後 5時30分 まで	
出席者	警察署協議会	会長以下13名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、地域管理官、 刑事管理官、総務課長、生活安全課長、 刑事二課長、交通課長、警備課長、事務局
議事概要		
【会長挨拶（要旨）】 ○ 今年度から会長となった。 ○ 今年度から、新規委員1名が加わることとなった。 ○ 早良警察署管内の治安情勢をより良くしていくためには、警察と住民がより一層連携し各種取組を行っていく必要がある。本日の協議会も、有意義なものとしていきたい。どうぞよろしくお願いします。 【署長挨拶及び同自己紹介（要旨）】 - 令和7年（第1四半期）の早良区の治安概要 ○ 依然として、ニセ電話詐欺が多発しているため、各種対策に取り組んでいく。 - 警察署協議会の運営の基本等 ○ 早良区内の安全・安心のために、本日も忌憚のない意見等をいただきたい。 【幹部自己紹介】 【報告事項】 - 繁華街・歓楽街対策について（生活安全課長） - 令和7年福岡県警察運営指針 - 西新クリーンアップ作戦 - ア 風俗環境の浄化 - イ 暴力団等犯罪組織の排除		

議 事 概 要

ウ 各種交通対策の推進

エ 関係機関・団体、住民等との連携強化

2 ニセ電話詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺について（同上）

- (1) ニセ電話詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺被害状況（令和7年1月～4月）
- (2) 検挙対策
- (3) 抑止対策

【質疑・意見・要望等】

- 委員から「ニセ電話詐欺の1件当たりの被害額は、どれ位になるのか。」旨の質疑があり、刑事二課長が「被害額は個人差があるため、一概には言えない。手口としては、犯人が電話で相手の資産額や口座名等を聞き出した上で当該情報に基づき複数回にわけて多額の現金等を騙し取るケースがある。」旨説明した。
- 委員から「この前、携帯電話に警視庁を名乗る不審な電話がかかってきたが、この携帯電話番号は変更したほうがよいのか。相手は私の名前も知っていた。」旨の質疑があり、署長が「犯罪者グループ内で名簿が出回り売買されている。最近、国際電話番号による詐欺電話が急増しており、警察は国際電話の利用休止措置の広報啓発を行っている。」旨説明し、刑事二課長が「携帯電話番号の変更も詐欺被害抑止の手段の一つとなる。」旨説明した。
- 委員から「ニセ電話詐欺等の学生の被害状況はどうなのか。」旨の質疑があり、署長が「数年前までは、ニセ電話詐欺等の被害は高齢者が主であったが、最近はSNS型投資・ロマンス詐欺等の被害が全世代に広がっている。」旨説明した。
- 委員から「詐欺被害の被害金は戻ってくるのか。」旨の質疑があり、署長が「被害回復は困難な状況であり、最優先は被害に遭わないことである。」旨説明した。
- 委員から「闇バイトの検挙状況はどうなのか。」旨の質疑があり、刑事二課長が「県警全体で闇バイトに起因する特殊詐欺事件等を強力に推進している。」旨説明した。

議 事 概 要

- 委員から「学生等が藤崎商店街、西新商店街において猛スピードで自転車を走行しているのを見かける。交通ルール・マナーに対する指導は進んでいるのか。」旨の質疑があり、交通課長が「当署管内の本年4月末時点における全交通事故に占める自転車関連交通事故の割合は、県下において多い状況である。西新商店街は、自転車指導啓発重点地区に指定されており、引き続き、交通指導取締り、交通安全教育及び広報啓発活動を行っていく。」旨説明した。
- 委員から「外国人が自動車運転免許証を更新する際に、地域によって違いがあるのか。」旨の質疑があり、交通課長が「法律で規定されているため、違いはない。」旨説明した。
- 委員から「早良署管内における、若年者の大麻等の薬物の取扱い事例があるのか。」旨の質疑があり、刑事二課長が「薬物の検挙は覚醒剤が多いが、若年層等の大麻事犯も発生している。」旨説明した。

【閉会】（会長）

以上で、令和7年度第1回早良警察署協議会を閉会する。